

2020年4～9月 新聞接触状況レポート Vol.5

J-MONITOR定期面別調査結果より

2020年11月5日
J-MONITOR連絡協議会

J-MONITOR 定期面別調査とは・・・

各紙の購読者モニターパネルに対して、定期的に朝刊・夕刊・別刷り**各面の接触状況**を質問する調査です。

調査日・調査対象面は、プラットフォームを運営するビデオリサーチが独自に設定。参加新聞社に対し、事前に調査日の開示を行わないため、より**客観的なデータ蓄積が期待できるデータ**となっています。

設問方法

◆スクリーニング

- 1.調査対象発行日の朝刊を読んだかどうか（夕刊・別刷りも同様に）
- 2.朝刊を手もとに用意できたかどうか（夕刊・別刷りも同様に）

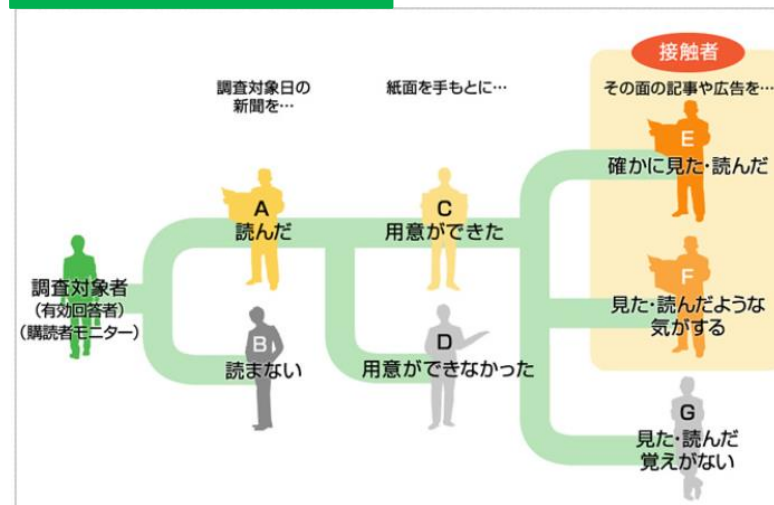
◆本調査（新聞を用意できた人に対して）

Q.「あなたは○面をご覧になりましたか。」（ひとつ回答）

A.

- 1.確かに見た、読んだ
- 2.見た、読んだような気がする
- 3.見た、読んだ覚えがない

面別接触率の設問方法



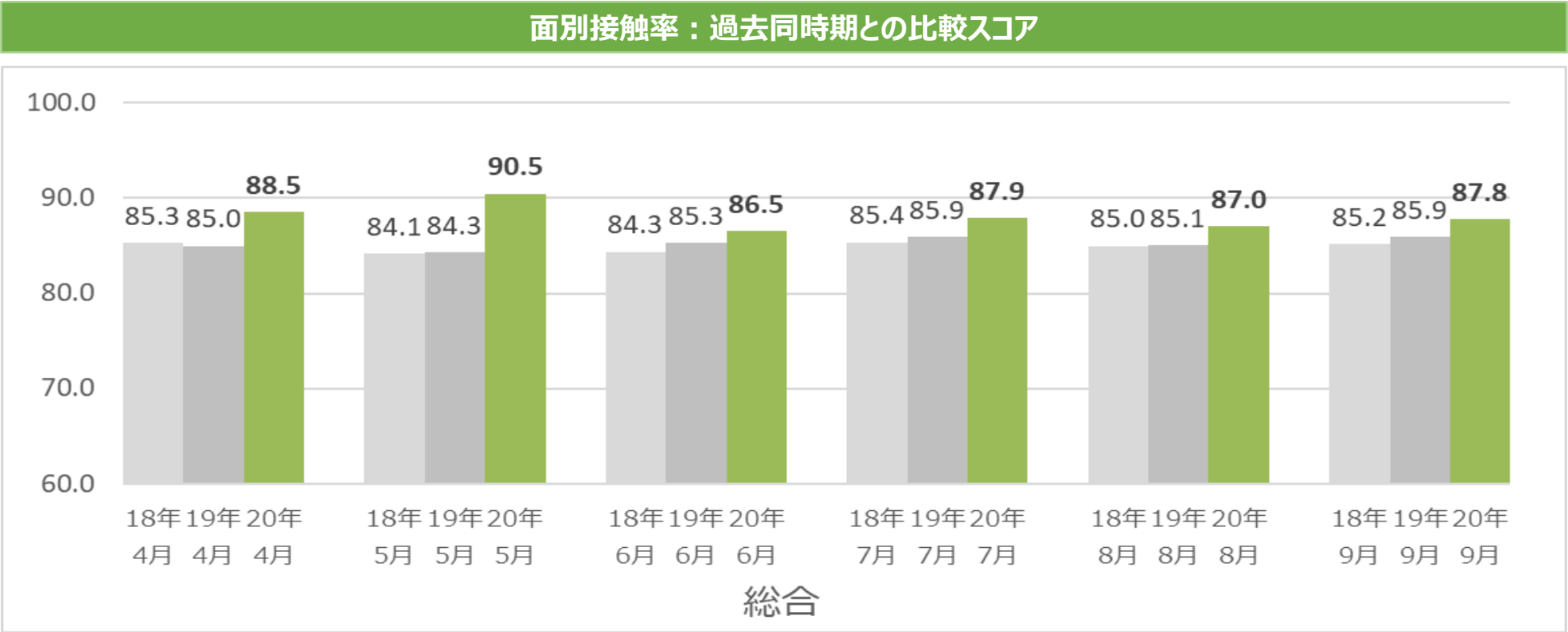
面別接触率の計算式

$$\text{面別接触率} = \frac{\text{確かに見た・読んだ} + \text{見た・読んだような気がする}}{\text{調査対象者 (有効回答者) (購読者モニター)}} \times 100 (\%)$$

◆面別接触率比較 ①「総合面」

①「総合面」・・・ 新型コロナウイルスに関する多角的な分析や、政策面などの重要なニュースが多く掲載

「総合面」は、緊急事態宣言の発出から解除があった4～5月のスコアよりもやや下がるものの、依然、接触率は87.0%前後の高さを維持しており、6月から9月にかけては、ほぼ横ばいの結果となった。また直近6か月すべての月において、昨年、一昨年の面別接触率よりも上回る結果となり、2020年9月は、昨年同月のスコアに比べ、面別接触率が約+2ポイント上昇した。緊急事態宣言が解除がされて4ヶ月経つものの、新型コロナウイルスをはじめとする国内外の情報を総合的に把握するために、引き続き目を通して読者が多いことがわかる。



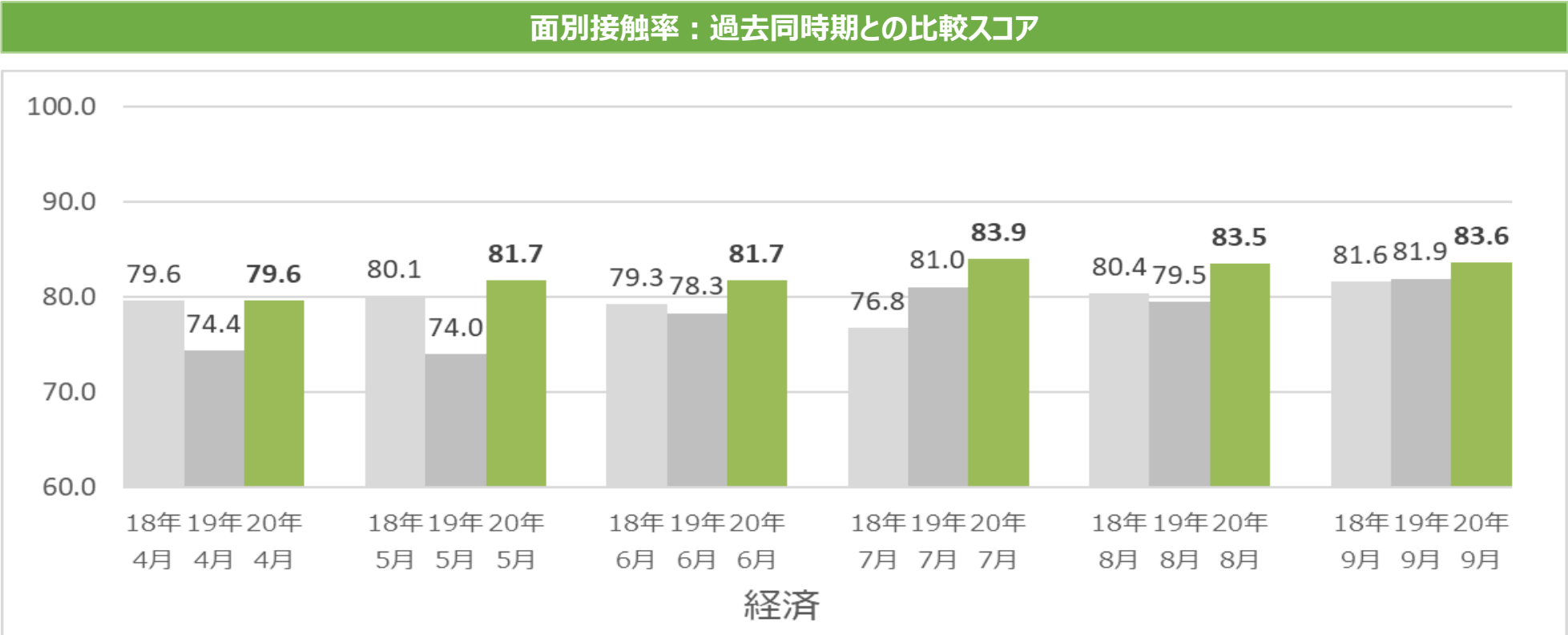
※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率比較 ②「経済面」

②「経済面」・・・新型コロナウイルスによって日々変化する日本経済の動向について掲載

「経済面」は、直近6ヵ月すべての月において昨年の面別接触率を上回り、2020年7月以降は、緊急事態宣言が発出された4月のスコアよりも+4ポイント高い状態が続いている。また2020年9月は、昨年同月のスコアに比べ、面別接触率が約+2ポイント上昇している。

新型コロナウイルスによって、日本経済は大きな打撃を受けながらも、GoToキャンペーンが全国でスタートするなど世の中の経済活動が徐々に動き始め、引き続き経済動向に注目が集まっていることが伺える。



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

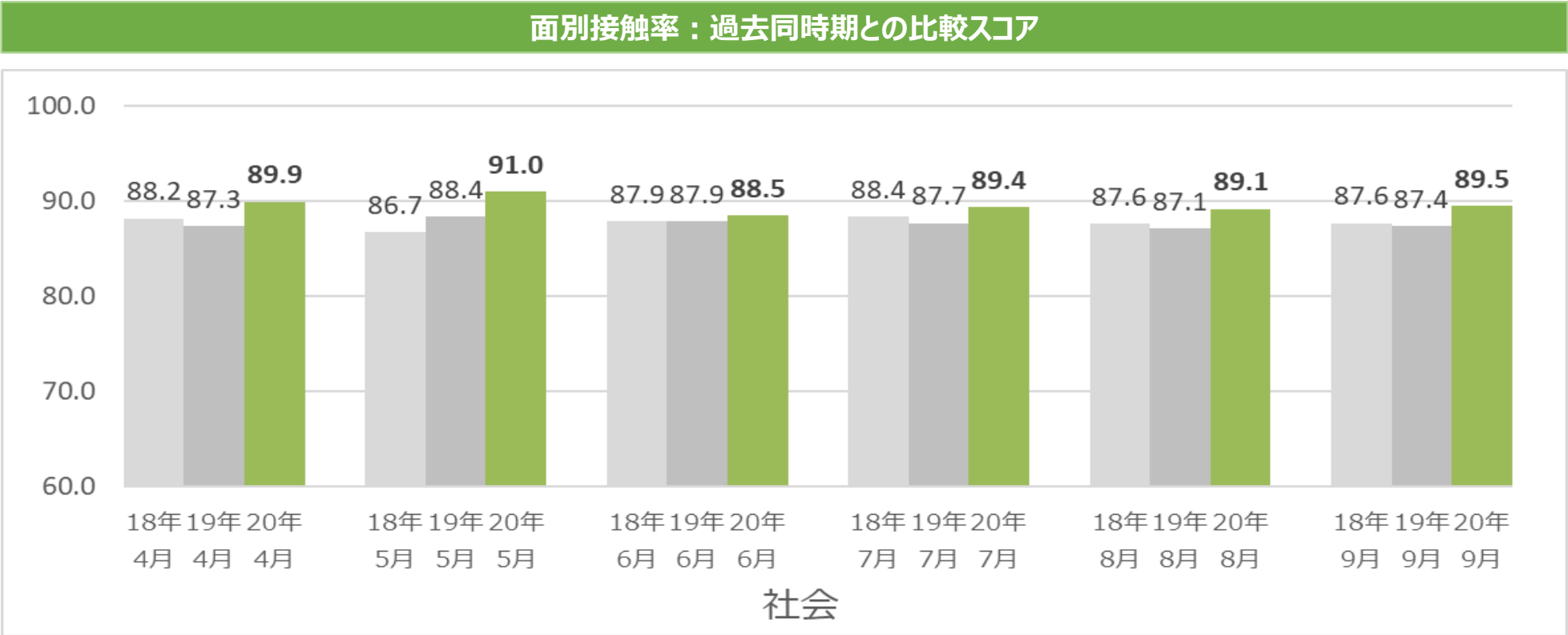
◆面別接触率比較 ③「社会面」

③「社会面」・・・新型コロナウイルスによって話題になっている社会問題などを掲載

「社会面」は、6ヵ月連続で昨年、一昨年の面別接触率を上回る結果となり、緊急事態宣言が発出された4月以降、ほぼ横ばい傾向となった。

また2020年9月では、昨年同月のスコアに比べ、面別接触率が+2ポイント上昇した。

コロナウイルスの感染拡大は落ち着くものの、最も世の中に対して影響があった4～5月と比べても社会面への接触率は維持されており、総合面だけでなく、より今の生活に密着した話題の多い社会面を確認している層が継続していると考えられる。



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

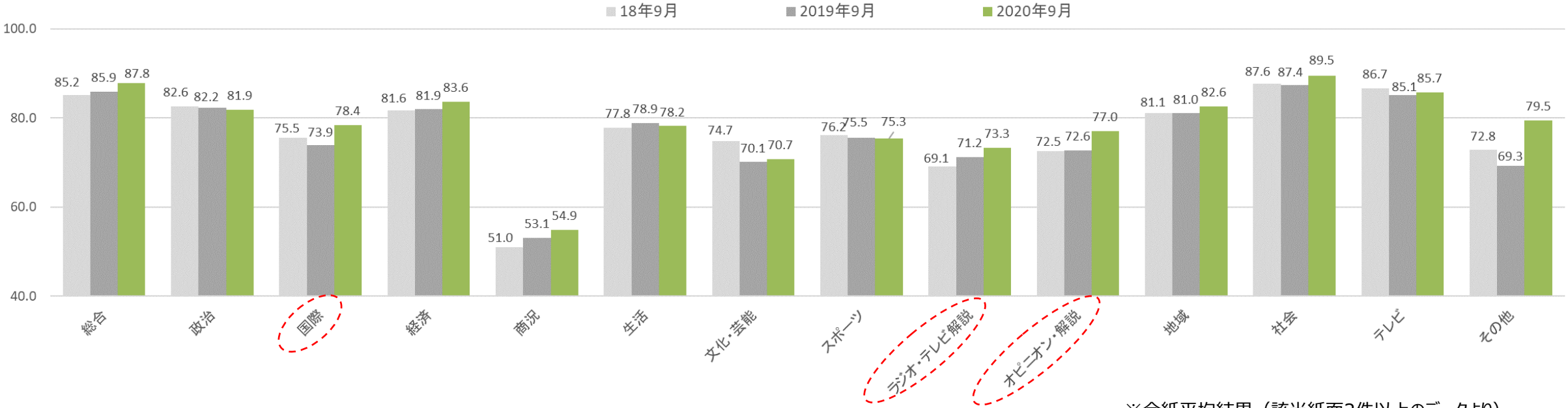
◆面別接触率比較 9月：「全紙平均」

2020年9月 全紙 面別接触率平均

9月の面別接触率は14面種のうち、9面種で直近3年の同時期の中で最も高いスコアを獲得。
その中でも、「国際面」、「オピニオン・解説面」の面別接触率は昨年よりも+4ポイント以上スコアが伸びている。
また、「ラジオ・テレビ解説面」は+2ポイントスコアが伸びた。

日本よりも新型コロナウイルスの影響が大きい海外情勢については、継続して注目されていることがわかる。
また緊急事態宣言によって在宅時間が増えテレビ視聴の時間が伸びたとされるが、緊急事態宣言解除から4ヶ月経過後も、引き続きテレビ番組やエンタメ系の情報については収集されていることがうかがえる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア

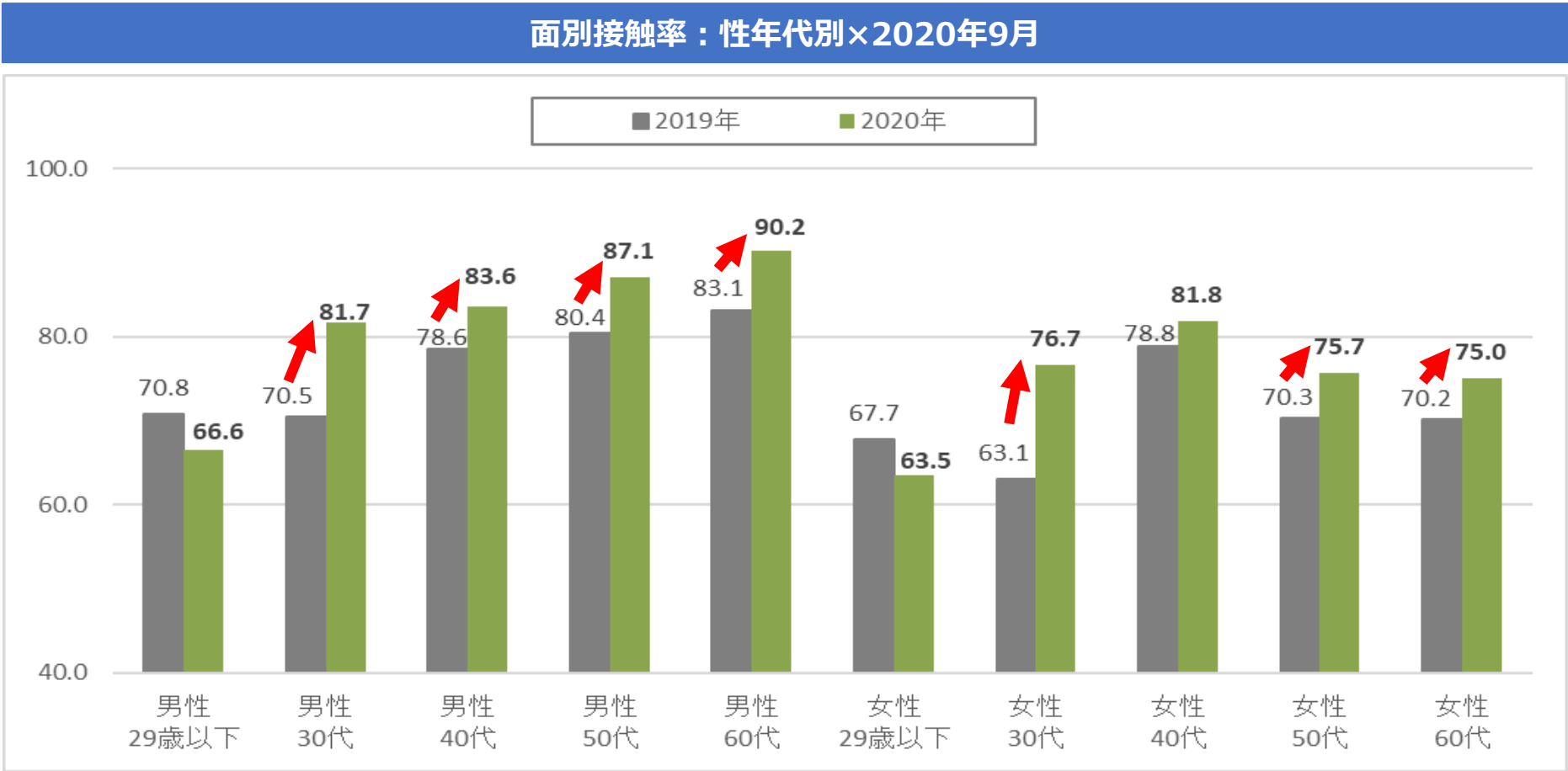


※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率比較 前年比較 性年代別「国際面」

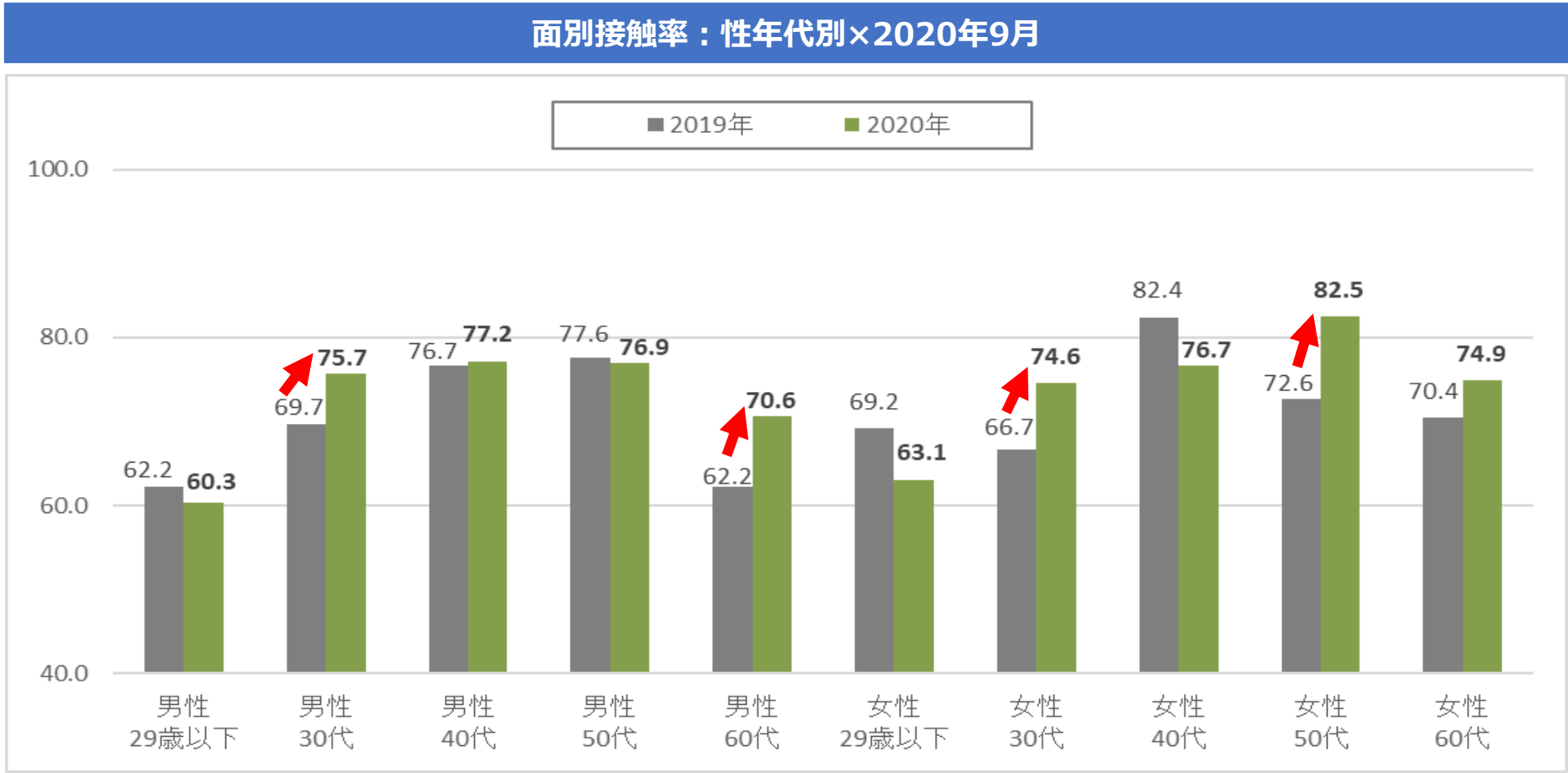
①「国際面」・・・新型コロナウイルスに関する世界各地の状況や影響に関する記事が掲載

「国際面」の面別接触率を性年代別で見ると、30代以上の男性の面別接触率は8割を超え、昨年度の同時期に比べ5ポイント以上上回る結果となった。また、女性は男性よりも面別接触率が全体的に低い傾向にあるものの、30代は、前年のスコアに比べ+13ポイント以上、50～60代も+5ポイントスコアを伸ばす結果となった。第2波第3波の感染状況、ワクチンの開発など、新型コロナウイルスに関する各国へ関心の高さが継続している。



◆面別接触率比較 前年比較 性年代別「ラジオ・テレビ解説面」

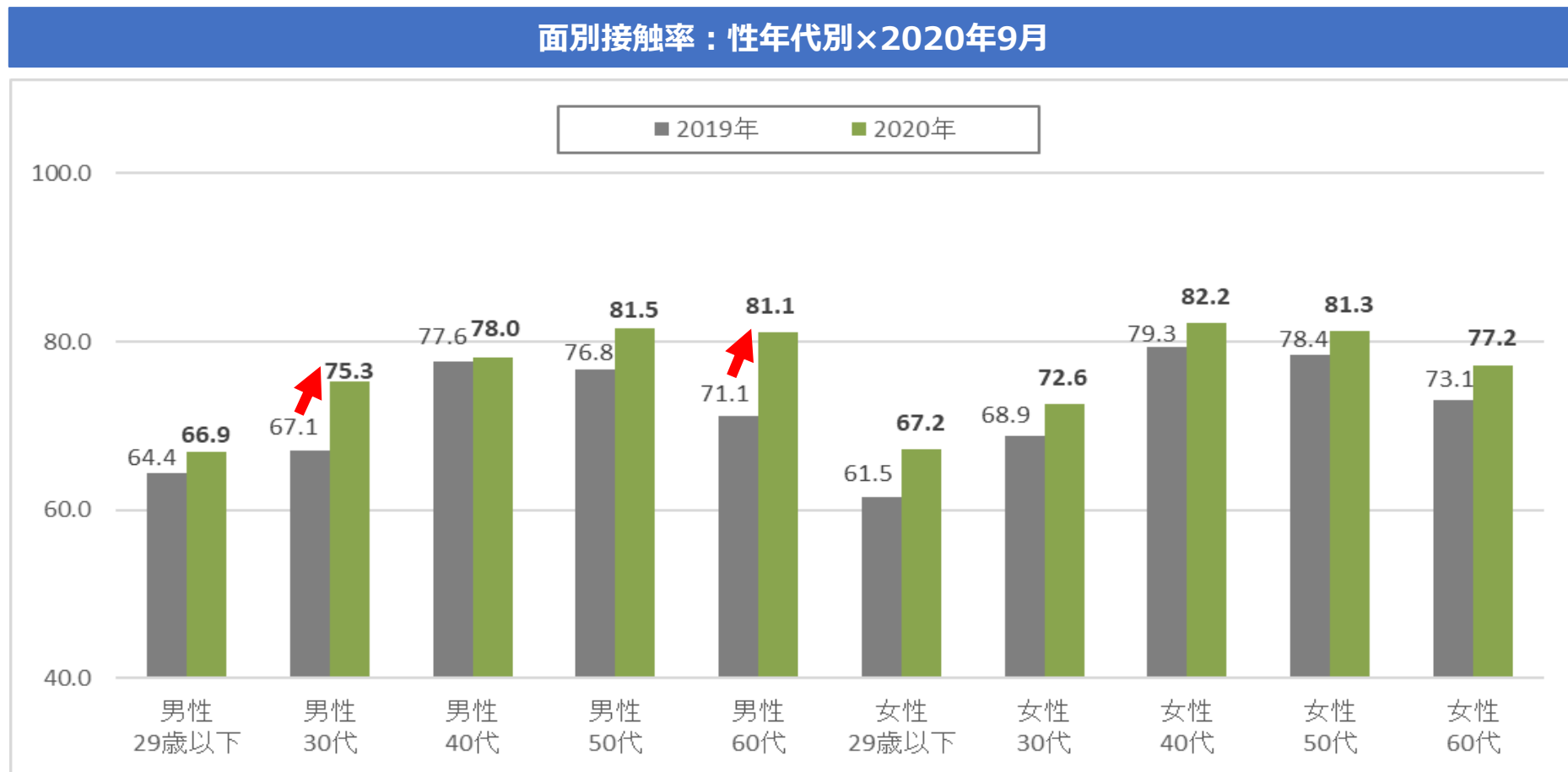
②「ラジオ・テレビ解説面」・・・ラジオ番組や通常の編成に戻りつつあるテレビ番組の情報などを掲載
「ラジオ・テレビ解説面」の面別接触率を性年代別で見ると、男性30代・60代、女性30代・50代では、前年に比べ+6ポイント以上高い結果となった。特に、女性50代では+10ポイント近くスコアが上昇しており、緊急事態宣言によって在宅時間が増えたことによりテレビやラジオの接触時間が増え、緊急事態宣言解除後もその流れは続いていると考えられる。



◆面別接触率比較 前年比較 性年代別「オピニオン・解説面」

③「オピニオン・解説面」・・・新型コロナウイルスをはじめとする諸問題に対する有識者や市民の意見を掲載

「オピニオン・解説面」の面別接触率を性年代別で見ると、すべての年代で昨年のスコアを上回る結果となった。特に、男性30代・60代では+8ポイント以上スコアが伸びている。新型コロナウイルスに関する様々な問題について知るだけでなく、有識者の考えから新たな知識を得たり、市民の意見を読みながら新しい生活様式をどのように過ごすべきか熟考する読者が増えていると考えられる。



◆面別接触率まとめ（2020年4月～9月）

◆考察

- ①9月の面別接触率の状況は、6月からほぼ横ばい傾向。4月～5月よりもややスコアは下がるが、高い水準を維持。
- ②9月は、全14ある面種のうち、総合、政治、経済、地域、社会、テレビの6面種が8割超え。
- ③国際、生活、文化・芸能、スポーツ、ラジオ・テレビ解説、オピニオン・解説、その他の7面種も7割超え。
- ④男性は総合、国際、経済、スポーツの接触が高く、女性は生活、ラジオ・テレビ解説の接触が高い。

⇒各面種が8月の接触率とほぼ変わらず、新型コロナウイルスの感染が最も広がった4～5月の接触率と比較するとスコアは少し下がるものの、継続して新聞に接触していることがわかる。

また経済面は、緊急事態宣言下の4～5月よりスコアを伸ばしており、GoToトラベルに続き、10月1日から始まったGoToイートキャンペーンなど経済政策が打たれる中、社会活動も以前に比べ徐々に再開されはじめており、国内における経済状況について注目が集まっていると考える。

面別接触率 一覧（単位：％）

朝刊・面名称	【全体】 2020年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総合	88.5	90.5	86.5	87.9	87.0	87.8
政治	85.0	83.7	81.9	82.8	79.3	81.9
国際	81.7	83.8	80.2	80.2	79.4	78.4
経済	79.6	81.7	81.7	83.9	83.5	83.6
商況	-	56.8	54.8	57.1	50.9	54.9
生活	80.2	82.9	78.8	81.0	78.4	78.2
文化・芸能	65.3	74.7	74.0	75.8	72.3	70.7
スポーツ	76.5	79.2	75.2	75.4	75.9	75.3
ラジオ・テレビ解説	70.1	76.5	74.3	75.2	70.9	73.3
オピニオン・解説	76.6	79.3	75.1	76.5	76.4	77.0
地域	84.3	87.4	84.3	82.0	84.3	82.6
社会	89.9	91.0	88.5	89.4	89.1	89.5
テレビ	86.0	88.1	87.1	87.5	87.3	85.7
その他	76.1	80.0	77.1	76.3	79.4	79.5

	【男性】 2020年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	89.9	92.7	88.8	91.0	89.3	90.1
	88.4	89.1	85.5	90.0	82.5	82.8
	85.6	88.3	83.4	86.7	82.4	82.7
	84.7	85.7	84.4	88.1	86.4	86.6
	-	61.9	61.2	65.8	55.3	61.8
	77.9	79.6	76.2	79.0	76.5	76.0
	66.2	75.7	73.9	75.3	71.7	70.8
	81.1	83.5	80.9	81.6	81.8	83.0
	69.5	73.8	74.7	74.7	71.0	72.0
	76.1	79.4	75.5	77.5	75.7	77.3
	84.2	88.1	84.4	84.5	83.8	83.7
	90.1	91.4	88.6	90.0	89.1	91.0
	85.7	87.6	86.9	87.9	87.7	85.7
	77.9	78.7	77.6	77.3	78.2	81.0

	【女性】 2020年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	87.3	88.4	84.3	85.1	85.0	85.7
	81.3	78.9	78.0	76.0	76.1	81.1
	78.5	79.6	77.1	74.3	76.7	74.5
	75.1	78.1	79.0	80.0	80.9	80.8
	-	52.0	48.6	48.7	46.9	48.2
	82.2	85.7	81.4	82.8	80.1	80.1
	64.5	74.0	74.2	76.3	72.8	70.7
	72.5	75.5	69.7	69.8	70.3	68.0
	70.5	78.8	74.0	75.7	70.9	74.5
	77.0	79.3	74.7	75.4	77.0	76.7
	84.2	86.8	84.1	79.6	84.9	81.7
	89.7	90.6	88.2	88.8	89.2	88.2
	86.2	88.5	87.4	87.0	87.0	85.8
	74.5	81.2	76.5	75.3	80.9	77.8

「定期面別接触率調査」 調査紙と調査実施月について

		18年 4月	18年 5月	18年 6月	18年 7月	18年 8月	18年 9月	19年 4月	19年 5月	19年 6月	19年 7月	19年 8月	19年 9月	20年 4月	20年 5月	20年 6月	20年 7月	20年 8月	20年 9月
全紙 15紙	首都圏	朝日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		産経新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		日本経済新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		毎日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		読売新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		東京新聞（首都圏）	●				●		●	●		●	●			●		●	
	近畿圏	朝日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		産経新聞（近畿圏）	●			●		●			●				●			●	
		毎日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		読売新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	その他	中日新聞（中京圏）		●		●		●	●			●	●			●		●	
		北海道新聞	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		神戸新聞				●		●								●			
		中国新聞					●		●										
		西日本新聞		●			●		●		●							●	

本データ使用時の注意点

本データをご使用の場合は、下記「データ出典」を必ず明記いただきますよう、お願いいたします。

データ出典：

J-MONITOR調査 定期面別調査 【調査実施機関】ビデオリサーチ 【調査日】2018年4月～2020年9月

J-MONITOR オフィシャルサイト

<https://www.j-monitor.net/data-plate/>

※11月5日より、オフィシャルサイトに掲出されています。

問い合わせ

J-MONITOR連絡協議会 2020年度 運営管理幹事

産経新聞社メディア営業局 企画プロデュース部兼業務推進部 橋本

問い合わせメールアドレス： press@it.videor.co.jp